

# **(仮称)高尾の里拠点施設基本計画**

**八王子市**

# 目次

## はじめに

### 現況編

1	高尾の里の現況と課題	1
2	計画地及び周辺の現況	4
3	高尾山の自然と歴史文化	7
4	高尾山観光の現況	12

### 計画編

1	計画の経緯	18
2	計画の基本方針	20
3	拠点施設の全体構成	26
4	具体的な事業プログラム	33
5	環境形成のテーマと土地利用計画	41
6	新施設の建築計画	49
7	新施設の展示計画	55
8	古民家の移築改修計画	64
9	サテライト施設	70
10	高尾森林センター	71
11	設備計画	72
12	事業化の手順と今後の課題	76

## はじめに

平成 17 年 4 月に、八王子市は、東京都から旧東京都高尾自然科学博物館の跡地及び収蔵品の移管を受けた。移管にあたり、博物館機能を継承することが条件とされている。

これを受け、市は平成 17 年度に、高尾山の麓（高尾の里）と東京都高尾自然科学博物館跡地の将来のあり方について検討するため、学識経験者や公募市民等からなる（仮称）高尾の里整備検討協議会を設置し、提言を受けたところである。

提言では、高尾の里に「新しい門前町＝現代に生きる門前町」、東京都高尾自然科学博物館跡地に整備する施設（拠点施設）には「高尾の自然、歴史文化や市全体の伝統文化の発信・発見の場」というコンセプトを与えている。

本計画は、このような経緯をうけて拠点施設の具体的な基本計画を策定するものである。



# 現況編

## 1 高尾の里の現況と課題

高尾山の麓には、もみじ広場、高尾山参道を中心に、そばを主力とした飲食店や土産品店が 20 店以上あり、観光地として小さな門前町を形成している。地元では、この一帯を高尾の里 と呼称し、高尾山の門前町として相応しい里づくりを展望している。拠点施設は、高尾の里の南側に位置する旧東京都自然科学博物館（以下、旧博物館）跡地に建設する計画である。

里全体はそれほど広くはない。東西両側を里山に囲まれ、南北に甲州街道が走り、これと直行するように清滝駅まで参道が形成されているが、長さは約 130 m ほどである。木造瓦屋根の商店と参道空間、川や水路、紅葉が美しいもみじなど一部良好な景観資源を有するが、里全体の景観は門前町としての風格や個性にやや乏しいのが現状である。

高尾の里と計画地の位置

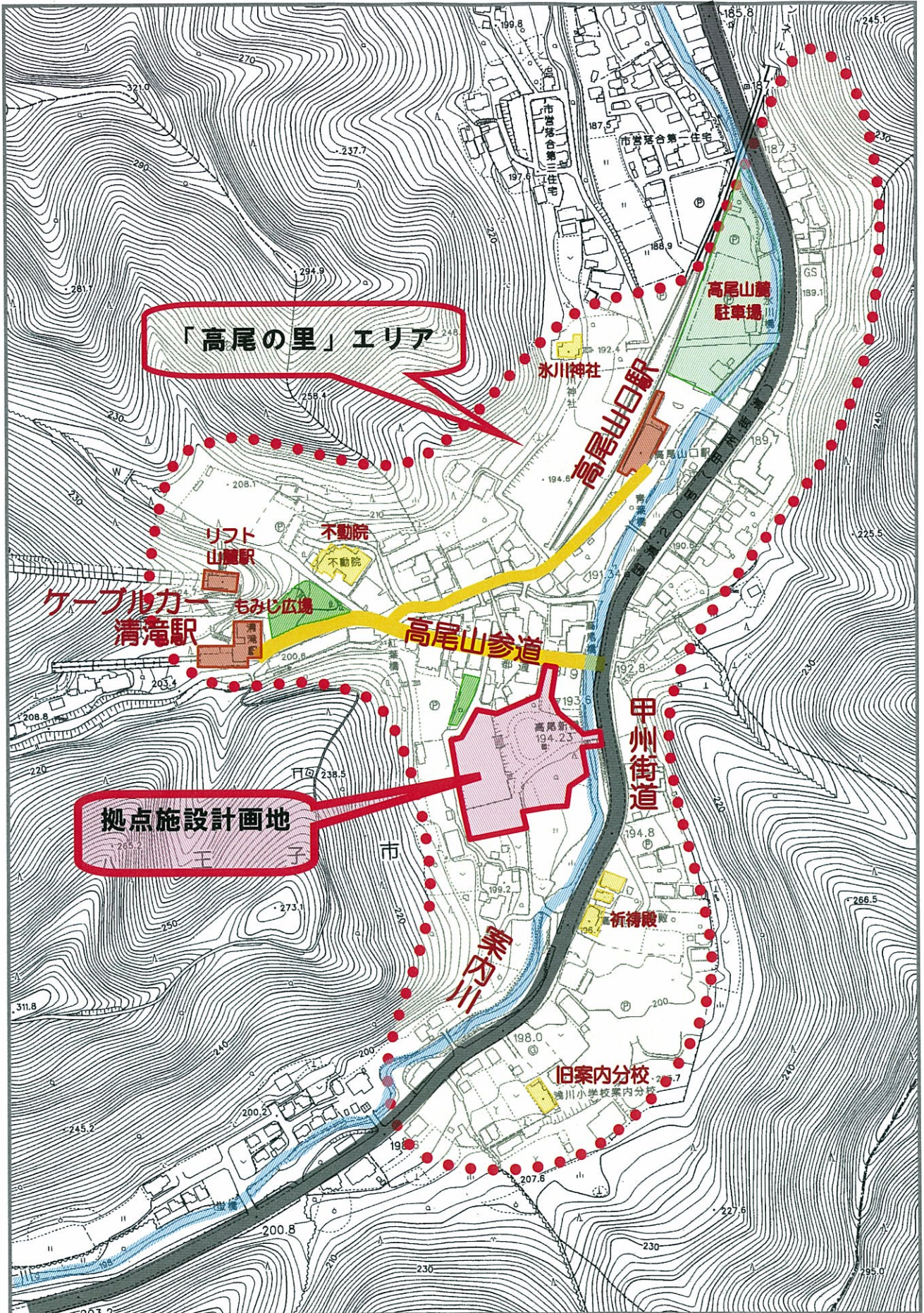


高尾の里の課題は、まず歩いて楽しい街並みとはなっていないこと、そして高尾山の自然や歴史文化を活用した魅力ある観光施設等が存在しないことである。このため、多くの観光客は高尾山に登り、里を回遊せずに、帰路につくのが現状である。高尾の里の商店街は、登山の観光客が里を巡り、回遊してくれること、そして食事や土産品の購買等をしてくれることを期待している。回遊性をもたせるには、門前町として風格と潤いのある景観形成を図ることと、回遊性をもたせる要素として魅力ある施設建設等が必要である。また、高尾山という特性を活かすためには、高尾山の歴史文化と恵まれた自然を活かした里づくりのあり方を模索し、里全体で築いていくことである。

さらに、平成 21 年度の完成を目標に建設が進められている圏央道の（仮称）八王子南インターチェンジが供用されると、現在よりさらに広域から車の流入が予想されるため、円滑な車の流れを確保するための具体的な対応を図る必要がある。



図一高尾の里と拠点施設計画地





高尾山口駅と駐車場



甲州街道と案内川

高尾の里の現況



駅前の景観



参道の商店街

駅からもみじ広場への裏道



もみじ広場と土産店



旧博物館跡地と隣接農地



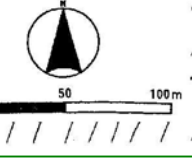
旧案内分校



旧博物館跡地の景観



案内川と隣接農地





## 2 計画地及び周辺の現況

### (1) 計画地の概要

計画地は、高尾山参道及び甲州街道に接する位置にあり、主に旧博物館跡地（平成 17 年 4 月に市に移管）を中心とし、全体の敷地面積は、南側隣地の借用候補地を含めて約 6,300 m<sup>2</sup>を予定している。

旧博物館跡地は、既に建築物は撤去され更地の状態である。一部、メタセコイアの 3 本の巨木など植栽地があるが、殆ど外来種の樹木である。また、計画地南西部には林野庁の高尾森林センターが先行して建設され、平成 19 年度にオープンする。このセンターは、瓦葺で地元の多摩材を使用した木造 2 階建の建物である。

計画地の敷地面積等

	面積	現況
旧東京都高尾自然科学博物館跡地	約 4,600 m <sup>2</sup>	更地、植栽地等
高尾森林センター用地	約 700 m <sup>2</sup>	木造 2 階建
借用候補地	約 1,000 m <sup>2</sup>	畑
合 計	約 6,300 m <sup>2</sup>	

計画地は全域市街化区域に属し、用途地域は、第一種低層住居専用地域（一部北側は近隣商業地域）である。また、高尾陣場自然公園内である。

計画地の都市計画

市街化区域	市街化区域内
用途地域等	第 1 種低層住居専用地域（第 1 種高度地区 高さ 10 m） 一部北側は近隣商業地域（第 2 種高度地区、準防火地域）
容積率	80%（近隣商業地域は 300%）
建ぺい率	40%（近隣商業地域は 80%）
自然公園	高尾陣場自然公園
宅地造成等	宅地造成等規制区域外

## (2) 計画地周辺の状況

計画地の北側は、参道、商店の裏側や駐車場である。一方、南側は、水田等の田園である（一部看板あり）。東側は、案内川、甲州街道に面し、敷地内の高台からは、道路越しに山並みが眺望できる。案内川の水面とは4~5mほどの高低差がある。これに対し西側は、細い道を挟んで住宅等が立地する。

計画地は北側で参道に接しているが、この清滝駅に至る参道の延長は約130mと短く、直線であるため見通しが良すぎ、やや単調な景観である。参道沿いの商店は、建物や看板などに個性を出しているため、統一感や落ち着いた雰囲気があるとは言いがたい状況である。

また、甲州街道を挟んで、交通安全祈禱殿広場駐車場や現在は廃校となった旧浅川小学校案内分校がある。



南側より計画地を見る

左側は建設中の高尾森林センター



高尾新橋より計画地を見る



計画地航空写真



### 3 高尾山の自然と歴史文化

#### (1) 高尾山の自然

高尾山は市の西部に位置し、標高 599 m の山である。古くから信仰の場として入山を厳しく制限されてきたため、近代まで豊かな自然が保全されてきた。昭和 25 年には、高尾山を中心とする地域（4,403ha）を都立高尾陣場自然公園に指定され、これまでの信仰の山として保全された自然環境や動・植物の学問的な価値が評価され、信仰と学問的な価値の二面から保護がされている。そして、昭和 42 年には明治 100 年を記念して明治の森高尾国定公園に指定された。また、高尾山周辺の気候が、冷温帯林と暖温帯林の接合点であるため、動植物の宝庫になっている。

高尾山の森林のうち、最も自然の状態に近いのは、山頂より東側に広く見られるカシ林・モミ林と、山頂より東の北側斜面上部に見られるイヌブナの林である。

一方、変化に富む高尾山の森林には、1,200 種近くの植物が生育し、多くの動物が棲息する。ムササビ・タヌキなど 25 種類以上の哺乳類、シジュウカラ・オオルリ・ルリビタキなど年間を通すと 70 種類以上の野鳥、タゴガエル・ヒダサンショウウオ・タカチホヘビなどの両生類や爬虫類、それに生きた化石といわれるムカシトンボなどの多くの昆虫が生息する。

都立自然公園や国定公園では自然の保護とともに、訪れる人が自然を楽しみ学べるように次に示す 6 つの自然研究路が整備され、東海自然歩道・関東ふれあいの道の基点となっている。また、高尾山頂から小仏峠や景信山・陣馬山へと尾根伝いにハイキングコースが伸びている。

高尾山自然研究路の特徴

コース名	特 徴
1 号路	ふもとから山頂に続くコースで表参道と呼ばれている。自然がゆたかで、ムササビのねぐらとなる木が多い。
2 号路	南斜面にカシ林、北斜面にイヌブナ林という高尾山を代表する自然林がある。
3 号路	カシ類やヤブツバキのような常緑広葉樹の林が続く。また高尾山ではめずらしいタブノキ・スジジイ・カゴノキなども見られる。
4 号路	イヌブナを主に、ブナ・アカシデ・カエデ類などの落葉広葉樹の林が続く。四季を通じて楽しめ、昆虫や野鳥なども多く見られる、
5 号路	山頂を一周りするコースで、人の手で植えられたクヌギ・コナラ・カシワなどや江戸時代に植えられたスギ、それにヒノキやカツラの植林が見られる。
6 号路	前の沢と呼ばれる溪流に沿ったコースで、水辺の生き物を観察できる。トンボやチョウも飛び、また琵琶滝があったり断層も見られ地学の観察もできる。

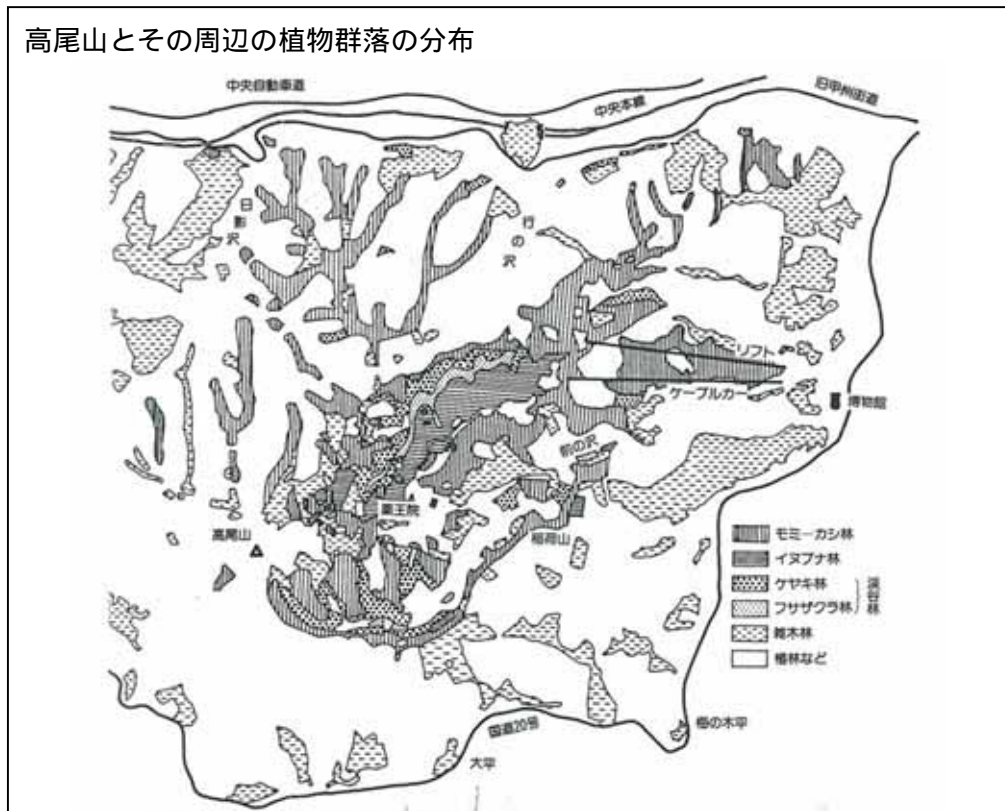
参考文献：高尾山の自然 東京都高尾自然科学博物館



# 高尾山



## 高尾山とその周辺の植物群落の分布



出展：「高尾山の自然」東京都 1992 年

## (2) 高尾山の歴史文化

高尾山薬王院有喜寺の寺伝によれば、高尾山は奈良時代に高僧の行基によって山が開かれ、14世紀末の永和年間には京都の醍醐山から来た俊源によって中興開山されたという。人々が山を崇拝する素朴な心持ちと神仏の融合した修験道と、俊源がもたらした仏教である真言密教などが相俟って、薬師・不動・飯縄権現・天狗などを中心とした高尾山信仰が展開した。

室町時代末のいわゆる戦国時代には小田原北条氏の庇護を受け、北条氏三代の氏康や八王子城主の北条氏照（氏康の次男）は、戦略的な意味と信仰の面などから高尾山の森林資源の保全を図った。

江戸時代初期、八王子は関東周辺の政治や行政の中心地で、その代官頭大久保長安によって高尾山の森林は守られた。また、薬王院は有力寺院として紀州徳川家をはじめとする武家や、江戸町人を主とする庶民の信仰を集め、江戸時代末には多摩西部、甲州、群馬方面にも信仰圏が拡大した。信仰圏拡大のシステムは薬王院特有のもので、伊勢神宮や木曾御嶽、武州御嶽などとは異なり、御師（お札を配り、信者の案内や宿泊などを業とするもの）は存在せず、檀家間の人間関係による護摩札の取次ぎをする者が存在し、信仰組織の維持や拡大を図った点である。幕末には高尾山を信仰する同行者で組織された、多数の講社が存在した。

高尾山は戦国時代から富士山との結びつきが強く、かつての奥の院には富士山を祀る富士浅間神社があり、富士講の人々は富士山参詣の途中に高尾山にも参拝した。その富士講の多くは江戸町人で構成されたもので、江戸へは高尾山の本尊が出向いて公開される出開帳（でがいちょう）が、本所・湯島・両国の回向院や深川などで行われて信仰を集めた。また、江戸時代の土産として、八王子宿の菓子商が「高尾せんべい」をつくって多くの店舗で製造販売された。

明治時代は明治政府の神仏分離や修験道廃止政策の影響を受け、明治14年には醍醐寺末から智山派末に転じて鳥居の廃棄や本尊名の変更など苦難の道を歩んだ。太平洋戦争後は滝などでの山中修行を行う高尾山修験が再組織されて今日にいたっている。

登山者は次第に信仰を目的とする者から行楽の人々が多数となり、来山者の受け入れとしてケーブルカーは大正9年に企画され、昭和2年に開通した。その昭和2年には東日本にはじめての天皇陵である多摩陵（たまのみささぎ）が造営されると、高尾山は全国的に知られるようになり、さらに多くのハイカーが訪れるようになった。大正末には高尾駅から登山道沿いに旅館・料理屋9軒、料理・休憩所が35件あったという。昭和初年には、画家の山本鼎がロシアの工芸品に影響を受け、大正年間に信州ではじめての農民美術運動に学んだ高尾山土産の天狗面やウグイス笛の製作は、農閑期における農家の貴重な現金収入となった。太平洋戦争後も薬王院は、臨時列車の誘致や観光会社との連携によっておおくの参拝者を確保した。また、薬王院は、八王子車人形をはじめとする多くの地域文化活動の拠点ともなっている。

高尾山は、人と自然、人と神仏、人と火・水、江戸・東京と山、農村と山、山と丘陵な



ど、異質なものを結ぶ時空に位置している。東京近郊で、日本の生きた伝統文化を今に伝えている唯一の地であり、海外からの高い評価も受けている。

#### 参考文献

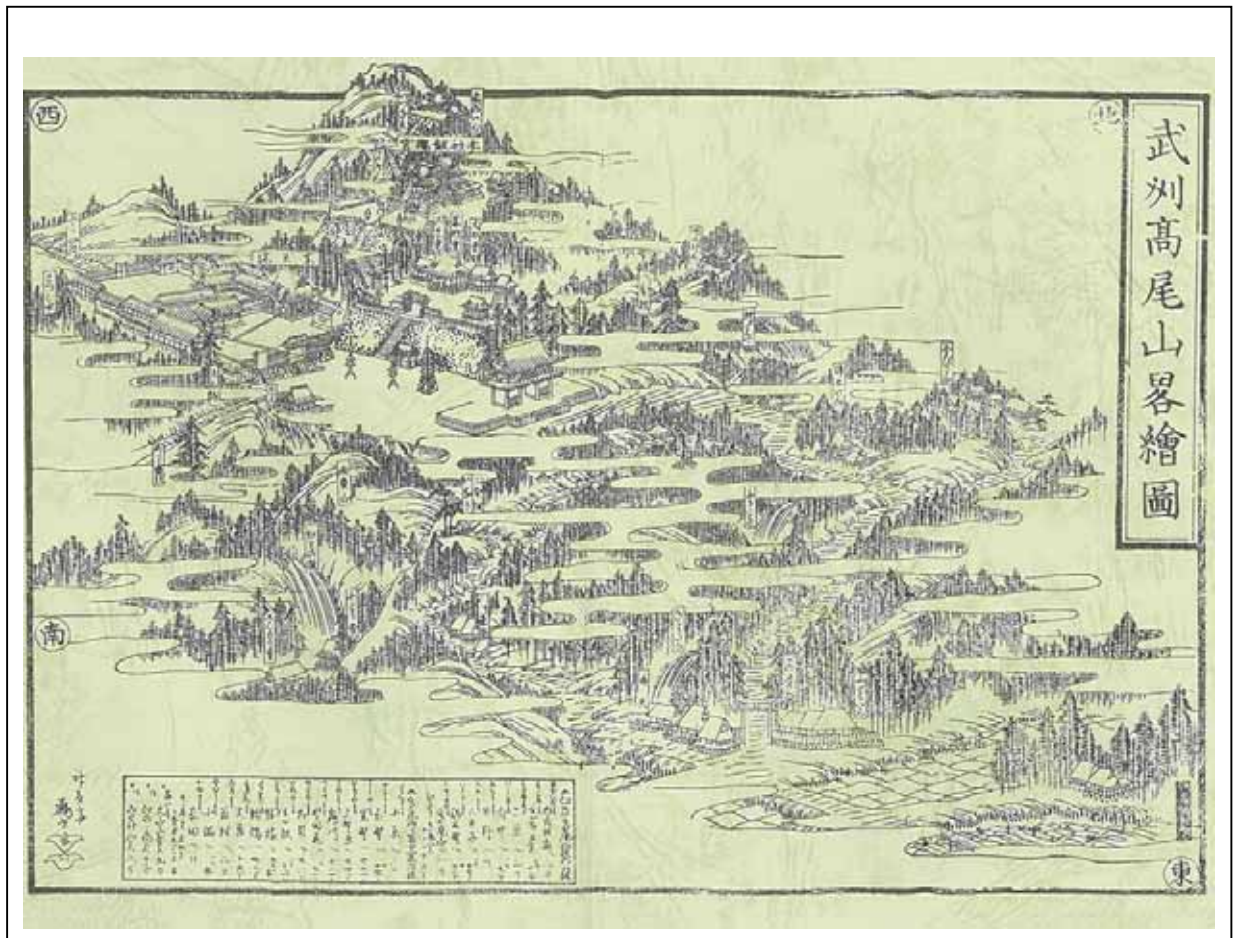
大山隆玄 『心のふるさと 祈りのお山』高尾山薬王院 平成14年

村上 直 『高尾山薬王院文書を紐とく』高尾山薬王院 平成17年

八王子市郷土資料館 『武州高尾山をめぐる庶民の信仰』八王子市教育委員会 平成15年

薬王院

節分会追儺式



出展：「高尾山薬王院」発行大本山高尾山薬王院 相原悦夫著 平成12年

## 4 高尾山観光の現況

### (1) 高尾山の観光資源等

高尾山観光の最大の資源は、貴重な自然と薬王院である。昭和2年、大正天皇の多摩陵が当時の横山村に設けられて、高尾山も全国的に注目されるようになった。この標高599mの高尾山に、昭和2年には高尾登山電鉄(株)が日本一の線路勾配31°18分をもつケーブルカーを開業し、昭和38年には全長872mのリフトを設置した。都市部に近く行きやすく、また登りやすい山として人気が高い。ハイキングコースを兼ねる自然研究路も6号路まで整備されている。山頂には東京都高尾ビジターセンター、見晴し台があり富士山をはじめ相模湾、房総の山々、奥秩父連山の大パノラマが眺望できる。

中腹には、高尾山薬王院有喜寺があり江戸時代から山岳信仰の場として庶民に親しまれ、境内の仁王門・飯縄権現堂・大師堂・不動堂は、江戸時代の建造物で東京都の指定有形文化財である。その高尾山参道途中には、高尾山サル園・野草園や樹齢八百年余りのスギ並木、飯盛スギ(都指定天然記念物)やたコスギ(市指定天然記念物)などの見所がある。また、夏場にはケーブルカーの高尾山駅に隣接する山上展望台で納涼ビアガーデンが開催される。

高尾山と言えば、若葉と紅葉である。特にモミジの紅葉は美しく11月は最も観光客の多い時期である。また、山頂から小仏、城山に至る一丁平の千本桜は有名である。

そして麓には、小さいながらも門前町を形成した参道があり、両側にソバ等をあつかう飲食、土産品店が並ぶ。また、ケーブルカー清滝駅手前のもみじ広場や甲州街道沿いにも商店の集積と、駅付近にトリックアートミュージアムがある。



高尾山観光マップ 出典：高尾山さわやかマップ 発行高尾山商店街

